

魅力

- 自然
- 歴史・文化
- 体験・イベント

地域の特性を生かした体験プログラムの開発により全体の滞在力の引き上げに貢献

東京に近く、交通利便性の向上で日帰り型になりがちな観光地を、自然体験プログラム、夜の体験プログラムの開発、教育旅行の積極的な誘致、地域の特性を活かした食の開発により、地域全体の滞在力の引き上げに貢献。入り込み客が3年間で約35万人増加したほか、海辺の自然体験プログラムの参加者数が2年間で約10倍の約3,800人に増加した。



一足早い春を告げる南房総の露地花畑

宿泊者数

	(館山市)	(南房総市)	(館山市・南房総市統計)
平成14年(2002)	43万人	—	
平成15年(2003)	42万人	—	
平成16年(2004)	43万人	—	
平成17年(2005)	48万人	—	
平成18年(2006)	44万人	66万人	

※「—」は、市町村合併に伴い、計算方法が変わったため。

取組

- PR・誘致活動
- 案内・情報提供
- 景観保全・環境整備
- 人材育成
- 体験・イベント開催
- 広域連携の促進

「道の駅」「カーナビ」地域観光の窓口機能を向上



道の駅とみうら・枇杷倶楽部

「道の駅とみうら 枇杷倶楽部」は地元の農園、飲食店と旅行者者などの間に入って、集客の分配や精算などを一括して代行することにより、旅行商品を開発。さらに南房総エリアの情報を共有化・統合化した「南房総いいとこどり」ホームページを開発、情報発信機能の強化を図り、南房総市7駅の利用者は3年間で約29万人増加。また自動車業界との連携によりカーナビ利用者向け情報システムを開発し、ドライブしながら音声と画面で観光情報が入手可能。

「花のおもてなし」と食の魅力満載！

冬でも花が咲く南房総千倉では、訪れた方に、見て、触れて、食してもらう「花尽くし」のおもてなし。宿の外観を花で装飾し、エントランスからお風呂、トイレに至るまで花尽くし、花の香りに包まれたくつろぎの宿を提供。

また館山では鮫商組合が「鮫ぐるめマップ」を作成し、「鮫の町」をPR。



花料理「キンセンカの天ぷら」

教育旅行の受け入れ



海辺の自然体験／沖ノ島無人島探検

地域資源を活用した体験プログラムの開発を契機に、平成15年度から教育旅行の受け入れを開始。初年度に愛知方面から3校を皮切りに、次年度以降、民宿を中心とした体験プログラムやNPO活動と宿泊施設の連携によるオリジナル性の高い体験プログラムが各学校、教育旅行会社に高い評価を得て、全国各地からの誘致に成功。平成18年度には42校(5,526人)にまで増加。

夜の自然体験プログラムの開催

減少する宿泊客を底上げするため、エコガイド「館山ウミホタル観察会」が宿泊客を対象に、「夜の自然体験プログラム」として実施。館山湾の「ウミホタル」は、他地域にはない「オンリーワン資源」として、近年の自然志向を背景とする顧客ニーズの変化に合致。徐々に「館山のウミホタル」としてブランド化しつつあり、家族層を中心としたリピーターが数多く見受けられる。



マリンプルーの輝き「ウミホタル」

館山市経済観光部商工観光課(体験交流センター)
TEL:0470-22-2544 URL:http://www.city.tateyama.chiba.jp/
南房総市商工観光部観光プロモーション課
TEL:0470-33-1091 URL:http://www.mboso-etoko.jp/